



岡山大学自然生命科学研究支援センター
動物資源部門鹿田施設
Newsletter

2019
Oct. 3

岡山市北区鹿田町 2-5-1 TEL 086-235-7445 FAX 086-235-7433 e-mail: animal@md.okayama-u.ac.jp
ホームページ <http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~animal/>

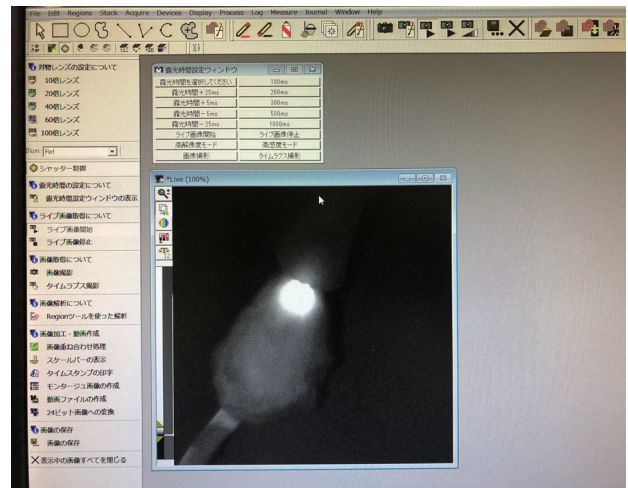


Lumazone を共同利用化しました。

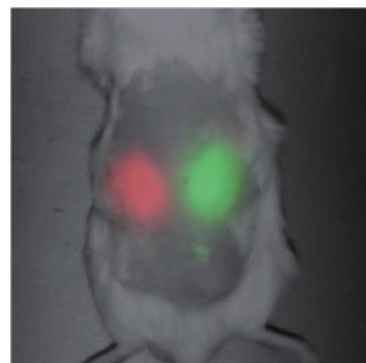
動物資源部門鹿田施設では歯学部予防歯科学教室より in vivo イメージングシステム「Lumazone CMS」をご提供頂き共同利用化いたしました。本機は既に鹿田施設感染実験区域にて運用されている「IVIS Lumina」と同様、生きたままの動物の体内から発現される蛍光タンパク質や生物ケミルミネッセンスの情報をリアルタイムに観察することが出来ます。同一個体を経時的に観察することにより、時間の短縮化によるコスト削減および動物数の低減も可能になります。

施設 3 階のマウス・ラット区域実験室に設置していますので感染実験区域に入室することは少し敷居が高いと感じられている方にもお気軽にご利用できます。

ぜひ皆様の研究活動にお役立てください。検出可能な蛍光波長域、使用方法、利用料金等につきましては動物資源部門鹿田施設受付（内線：7445）までお問い合わせください。



↑日本語メニューでの操作も一部可能です



（左写真）
ショーシン E M 株式会社資料より抜粋

マウス飼育室の整備を行いました。

動物資源部門鹿田施設では昨年度3月15日、4階マウス飼育室へ精研製 Ap 型アニコン飼育ラック（陽圧型飼育ラック）を5台導入し、4月1日に稼動開始いたしました。本飼育装置の導入により、収容数は310ケージ分（マウス1,550頭分）増強され、増え続ける飼育スペース需要に当面お応えできる環境を構築いたしました。今回整備した装置には、これまでの運用経験を踏まえ、メンテナンス性を向上させる当部門独自の改良をメーカーに提案しました。

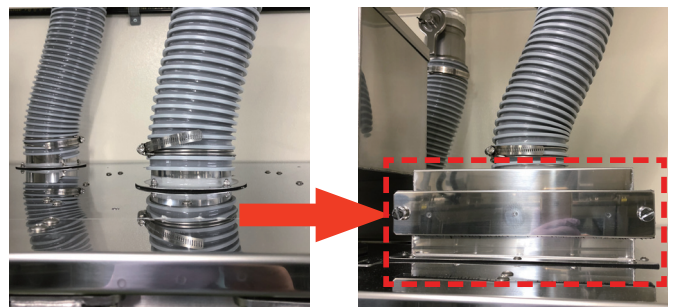
また、今回の整備により鹿田施設4階、5階のすべての飼育室に飼育ラックの導入を完了いたしました。

本年度は施設3階にラット用飼育ラックを整備し、ラットの収容能力の増強を図る計画を進めております。動物資源部門では今後とも、利用者の皆様により良い研究環境を提供できるよう努力して参ります。ご協力、ご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

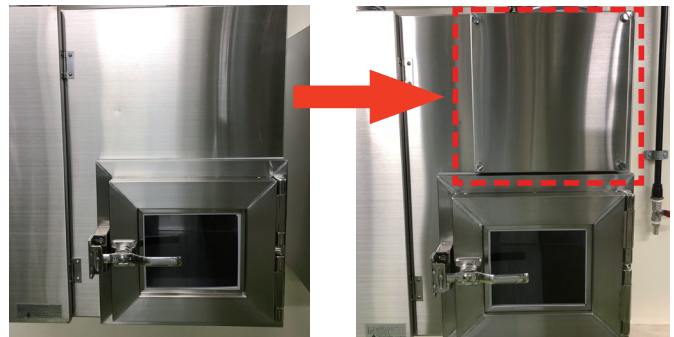


<今回整備されたマウス飼育ラック>

動物資源部門独自の改良



・排気にフィルターを取り付けることで、清掃が困難な天井裏排気ダクトにダストが溜まらないようにしました。飼育室内での害虫発生を抑制することが期待されます。



・モニターボックスにメンテナンス用の扉を取り付けることで、内部のダスト清掃を容易にしました。これまで事実上できなかった部分のメンテナンスが可能になることで、モニタリング結果の精度向上が期待されます。

10月から利用料金が改定されます。

先般の利用者協議会においてご説明させて頂きましたが、近年の高熱水道料金の高騰に加え10月1日からの消費税増税により、今後運営支出総額の従来比10%増が見込まれ、施設運営の逼迫が差し迫っています。そこで本年10月1日より施設利用料金を改定させていただくこととなりました。利用者の皆様には負担増となり大変恐縮ではありますが、施設としましては職員一同一層の経費削減に勤めて参りますので、何卒ご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。